

宮城県内流通食品等の放射性物質検査結果について

宮城県内で流通する食品等について、収去検査^(注)により下記のとおり放射性物質検査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

記

- 検体採取年月日 令和4年5月13日, 16日, 17日, 18日
- 検査結果判明年月日 令和4年5月18日, 19日
- 検査機関 食肉衛生検査所, 保健環境センター
- 測定機器及び測定法 一般食品は, NaIシンチレーションスペクトロメータによるスクリーニング法で測定します。ただし, 結果がスクリーニングレベル(50Bq/kg)を超えた場合やその他の食品区分は, ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による精密検査法で検査結果を確定します。
- 検査結果 全ての品目について, 基準値を下回り, 安全性に問題ないことが確認されました。詳細は下表のとおりです。

(検査結果)

No	食品区分	品目	製造所(加工所)の所在地	検査法	放射性セシウム測定結果(Bq/kg)
1	一般食品	牛肉	岩手県 ^{※1}	NaI	不検出 ^{※2}
2	牛乳	牛乳	宮城県大崎市	Ge	不検出 ^{※3}
3	牛乳	低脂肪乳	新潟県	Ge	不検出 ^{※3}
4	一般食品	乳酸菌飲料	秋田県	NaI	不検出 ^{※2}
5	一般食品	鶏肉(胸肉)	宮城県仙台市	NaI	不検出 ^{※2}
6	一般食品	鶏肉(胸肉)	宮城県登米市	NaI	不検出 ^{※2}
7	一般食品	漬物(梅干し)	宮城県登米市	NaI	不検出 ^{※2}
8	一般食品	漬物(梅干し)	宮城県登米市	NaI	不検出 ^{※2}
9	一般食品	そうざい(きんぴらごぼう)	宮城県登米市	NaI	不検出 ^{※2}

※1 牛の生産地を記載しています。

※2 スクリーニング法における「不検出」とは測定下限値未満のことです。測定下限値は基準値の1/4の濃度以下で検出限界値以上の値であることが条件であり, 一般食品の場合には25Bq/kgとしています。

※3 精密検査法における「不検出」とは検出限界値未満のことです。検出限界値は測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を指し, 基準値の1/5の濃度以下で, 測定毎に異なります。

(参考)

令和4年度宮城県内流通食品等の放射性物質検査結果

令和4年5月25日

<精密検査>

食品区分	検査 件数	内訳 ^{※1}		基準値以下件数			基準値 超過 (Bq/Kg)	基準値 (Bq/kg)
		県内	県外	不検出	~10 (Bq/kg)	11~50 (Bq/kg)		
飲料水	0	0	0	0	0	/	0	10
牛乳	6	3	3	6	0	0	0	50
乳児用食品	1	0	1	1	0	0	0	50
一般食品 ^{※2}	0	0	0	0	0	0	0	100
計	7	3	4	7	0	0	0	/

<簡易検査（スクリーニング法）>

食品区分	検査 件数	内訳 ^{※1}		基準値以下件数			基準値 超過 (Bq/Kg)	基準値 (Bq/kg)
		県内	県外	不検出	25~50 (Bq/kg)	51~100 (Bq/kg)		
一般食品	30	24	6	30	0	0	0	100

<総計>

検査 件数	内訳 ^{※1}		基準値以下件数	基準値 超過 (Bq/Kg)
	県内	県外		
37	27	10	37	0

※1 製造所（製造所固有記号による表示の場合は、製造者または販売者）等が県内であるか県外であるかにより区別したものです。

※2 簡易検査（スクリーニング法）にて50Bq/kgを超過した一般食品については、精密検査を実施し検査結果を確定します。その際は精密検査の検体数としてカウントされます。